

2018 / 2022年 ワールドカップサッカー大会の日本招致に伴う
開催地自治体の募集等について

1 概要

(財)日本サッカー協会は、国際サッカー連盟(FIFA)に対し、2018年及び2022年のワールドカップの日本招致を目指して平成21年2月に立候補の意思表示を行いました。

その後、9月に、「(財)2018/2022年FIFAワールドカップ日本招致委員会」(以下、「日本招致委員会」という。)を設立し、日本招致委員会から各自治体に対し、「開催地自治体」の募集を行いました。

これを受けて、横浜市は日本招致委員会に対し、10月30日に「開催地自治体」の立候補意向表明書を提出いたしました。今後は、平成22年1月8日までに「開催地自治体」として、正式に立候補する予定です。

2 今後の予定

| | |
|--------------------|--|
| 平成22年1月8日 | 日本招致委員会への「開催地自治体」正式立候補期限 ※正式立候補後に、招致登録金として、1開催地自治体あたり100万円が必要となります。 |
| 平成22年12月2日 (予定) | 2018年及び2022年大会の開催国決定 (国際サッカー連盟理事会にて) |

3 招致立候補国 (開催希望年)

現在、立候補の意思を表明している国は、次の「欧州」「北中米」「アジア」から10か国です。

なお、2018/2022年ワールドカップには、直近2大会の開催地であるアフリカ及び南米からは立候補できません(2010年は南アフリカ、2014年はブラジルが開催地)。

